

研究代表者氏名	勝浦 哲夫		研究組織	6人		
所属機関・部局・職	千葉大学 工学部 教授		所属機関所在地	千葉市		
研究課題名	人工環境に対する生理反応の多型性に関する生理人類学的研究					
研究の概要等	<p>人類にとって新しい環境である人工環境は、自然環境とは異なる様々な影響を人類に与えている。本研究はこうした人工環境に対するヒトの生理反応を詳細に検討することにより、生理反応の多型性を明らかにすることを目的としている。</p> <p>人類 500 ~ 700 万年の歴史の中で、ヒトはそのほとんどの時を自然環境の中で生活し進化してきた。したがって、ヒトはある程度、自然環境に対する適応能を身に付けている。しかし、わずか数百年前に出現した新しい人工環境に対してヒトは必ずしも十分に適応できているとはいえない。特にここ数十年間に急激に変化した人工的な光環境、熱環境、音環境に対するヒトの適応能はまったく不十分であり、生理反応の変異は大きく、反応型も一定ではない。そこで、本研究では 5 年間の研究期間内に、自然環境とは異なる人工的な光環境、熱環境、音環境に対する自律神経機能、中枢神経機能、体温調節機能などの各種生理機能の反応を測定し、その生理反応に内在する型を顕在化し、多型性を明らかにすることを計画している。</p>					
当該研究課題と関連の深い論文・著書 (研究代表者のみ)	<p>T. KATSUURA, Physio-Anthropological Themes in the 21st Century-The Natural and Artificial Environment. In: Current Topics in Physiological Anthropology, Croatian Anthropological Society, pp.7-12, 2000</p> <p>T. KATSUURA, R. TABUCHI, K. IWANAGA, H. HARADA, Y. KIKUCHI, Estimation of Thermal Sensation during Varied Air Temperature Conditions. Applied Human Science, Vol.17, No.2, pp.73-78, 1998</p>					
研究期間	平成 15 年度 ~ 19 年度 (5 年間)					
研究経費 (16 年度以降は内約額)	平成 15 年度 千円 46,500	平成 16 年度 千円 9,000	平成 17 年度 千円 7,500	平成 18 年度 千円 9,000	平成 19 年度 千円 9,000	合計 千円 81,000
ホームページアドレス	なし					